

とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年2月25日発行 第18号
更別村コミュニティ・スクール委員会

みんなの学校応援団 の活動を紹介<その14>

「安全なネット利用を」

2月21日。上更別小学校高学年の総合的な学習の時間に、帯広警察署生活安全課少年係の山川巡査長をお招きして、非行防止教室が開催されました。

昨年11月、大阪府の小学6年生がSNSで知り合った35歳の男に誘拐され、1週間後に栃木県で保護されたという事件を受け、心配した担任の先生が保護者と相談して実施を計画した「安全なネット利用」のための授業です。



学級の子どもたちは、まだスマホを持たず、LINEなどのSNSもしていないということでしたが、オンラインゲームで遊んでいる子は多くいたようです。

オンラインゲームについては、見知らぬ相手とのアイテムのやり取りや、アイテムの課金などでトラブルが生じている事例が話され、特に上更別小の児童は「実名でゲームをしている」子が多かったようなので、「個人情報の流出につながるので、実名は使わない方がいい」と注意されていました。

他にも女子小学生が、SNSや掲示板で知り合った、同じ女子小学生を装った成人男

性に裸の写真を送ってしまった事例や、以前話題になった、コンビニの冷凍ケースに入った動画をネットにあげる等の「バイトテロ」により数千万円の損害賠償が発生した事例なども紹介されました。

楽しく便利なインターネットですが、安全に十分注意し、家庭で利用上の約束を作ったり、ペアレンタルコントロール(保護者による利用制限)機能を活用するなど、保護者の適切な管理の下で利用させましょう。

「胸骨圧迫とAEDで救急救命」

2月25日。更別小学校6年生が更別消防署の斎藤さん、佐々木さんを講師に、救急救命について学ぶ授業が行われました。

「たたかう！救急アニメ 救え！ボジョレー!!」というDVDを用いて、一人ずつ、CPR(心肺蘇生)トレーニングボックス アップクン という教材を使っての学習です。

日本では年間7万人もの方が心臓突然死で亡くなっており、学校関係だけでも100名にのぼるそうで、もし、胸骨圧迫とAEDの電気ショックを正しく処置できたら、助かる確率が4倍にもなるということです。

最初のコマは胸骨圧迫。消防士さんに正しい胸骨圧迫の仕方を教わり、アップクンの心臓模型に施しました。



何分も続けるのは大変ですが、子どもたちは一生懸命取り組みました。5cm沈み込む強

さで、1分間に100~120回。倒れた人の意識が戻るか、救急隊が到着するまで絶え間なく続けることが大切だということです。

次のコマはAEDの使い方。これもアップクンで電極を貼り付ける位置を確認し、その後、本物のAEDを使って、学習しました。

AEDを使うような状況にならないのが一番ですが、もし遭遇したら、勇気をもって使うことが重要だと教わりました。